



『新宿力』で創造する  
やすらぎとにぎわいのまち新宿

平成30年第1回区議会定例会  
新宿区長定例記者会見資料  
平成30年2月9日(金)

事業名	女性の視点を踏まえた配慮を要する方への避難所運営体制の充実と災害用備蓄物資の充実	予算(案)の概要	101、102 ページ 105
予算額	36,915 千円 (拡充) (前年度予算額 1,250 千円)		
取材先	危機管理担当部地域防災担当副参事 安藤 (電話 03-5273-3874)		

## 避難所における要配慮者への支援体制の充実・強化

### 30年度の取り組み

- 備蓄物資の更なる充実・強化 **32,595千円**
- 女性をはじめ配慮を要する方の視点でのワークショップの実施 **4,320千円**

### ● 備蓄物資の更なる充実・強化 (拡充)

避難所における要配慮者への更なる支援のため、新たに、**要配慮者向けの防寒用具**として、**寝袋**を備蓄するほか、平成28年度に新規配備した物資の一部を拡充配備します。

#### 新規配備

- 寝袋 (5,100枚)
- ウェットティッシュ (5,000個)
- 食品包装用ラップ (3,000巻)
- キッチングローブ (3,000双)



寝袋 (イメージ)



ウェットティッシュ

### これまでの実績

東日本大震災では、女性や子ども、高齢者などの配慮が必要な方への対応が大きな課題となったことから、第三次実行計画において以下のような取り組みを進めてきました。

#### 1 備蓄物資の充実 (平成28年度) 以下の備蓄物資を新規配備しました。

- キッチングローブ (5,100双)
- 食品包装用ラップ (510巻)
- ウェットティッシュ (5,100個)
- 筆談器 (255台)
- ワンタッチテント (2種類合計153張)
- アレルギー対応リゾット (2,754食)



ワンタッチテント

#### 2 避難所運営体制の充実・強化 (平成28年度から平成29年度)

各避難所運営管理協議会への**女性子ども部の新設**、**女性専用スペースの確保**等、要配慮者への支援体制を充実させていくため、各協議会のマニュアルの見直しを行いました。

## ● 女性をはじめ配慮を要する方の視点でのワークショップの実施 (拡充)

### ワークショップの概要

それぞれの活動団体の強みやネットワークを活かした「要配慮者への支援」について検討し、地域全体で支え合う体制を構築します。

- 対象地域 特別出張所地区を単位として、2地区で実施(5年間で全10地区完了)
- 対象者 防災区民組織、民生委員・児童委員、青少年育成委員会委員、PTA等

#### ワークショップの内容 (予定)

- 熊本地震における女性等への支援の検証 (被災経験者による講演など)
- 東京都発行予定の「女性視点の防災ブック (仮称)」を活用した検討
- HUG (避難所運営ゲーム) ※による発災時の避難所開設・運営を体験し、課題の洗い出しを行う。(予算額 432千円)



#### ※HUGとは

避難者の年齢や性別、国籍やそれぞれが抱える事情が書かれたカードを、避難所に見立てた平面図にどれだけ適切に配置できるか、また、避難で起こる様々な出来事にどう対応していくかを疑似体験するゲーム

参加者の防災意識を高めるとともに、各団体の委員への意識啓発を行い、避難所における要配慮者への支援体制の充実・強化につなげます。

- 防災区民組織
- 民生委員・児童委員
- 青少年育成委員会
- PTAなど

### 参加者の意識の向上

### 各団体委員への意識啓発

### 地域の「共助の力」の強化



### 避難所等における要配慮者の安全・安心の向上

